



津別町長 佐藤 多一

生きる基本を大切に

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症は収束の方向に向かっていると考えていましたが、また新たな変異株が発生し、不安を払拭できない令和4年の年明けになりました。

昨年実施しました津別町のワクチン2回接種者数は、90・1%（12月6日現在）でしたが、免疫細胞の減少に対応するため、国の方針により3回目の接種を行うことになりました。この様な状態がいつまで続くのかと不安を感じますが、今できることは確実に実施したいと考えています。

さて、昨年は平成30年7月に策定しました「津別町複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」によ



津別町議会議員 鹿中 順一

健康で安心して暮らせるまち

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、やはり一昨年来続くコロナ対策の1年でありました。国内ではワクチン接種が進むさなか、第5波と言われた8月には、全国で1日あたり2万5千人を超える新規感染者が確認される感染拡大となりました。

感染の波を繰り返しています。なぜ感染の周期が生まれたかのメカニズムは解明されていません。新たな変異株の確認、国内や世界各国の感染状況を見ましても、未だ終息に向けては先が見えないところで、今後においてもしっかりとした感染予防対策を心

り、役場複合庁舎と消防庁舎が完成し、それぞれ職員は快適な勤務環境の中で町民の皆さまのために仕事を進めています。平成27年度から始まった地方創生事業の一環として、ラグビー合宿でなじみの深い筑波大学の協力を得、地元高校生も参加してまちなかを再生する取り組みを行い、石破地方創生担当大臣からこの年の最優秀賞をいただきました。

あれから幾度も懇談会、発表会、委員会、協議会などを経て、今日に至っています。複合庁舎の建設を終え、現在、第2段階である商業施設、図書館、交通拠点の整備に取りかかっていますが、いずれも津別町のために必要な施設であり、分散ではなくコンパクト

に集約して賑わいを取り戻していく取り組みを進めています。いま世の中は、2年に及ぶコロナ禍を通して、テレワークが広がるのを見えています。首都圏の大きな会社では、自宅でのリモート勤務が推奨され、出勤者は2割程度で通勤手当もなくなったと聞きます。仕事は必ずしも会社でするものではなく、会社は東京にあるが暮らしは田舎という形態に少しずつ変化してきているようです。

国が推し進める地方創生も、リモートワークによる人口移動とデジタル化を重視しています。では、彼らが移住先を選択するにあたって、一体何を基準にするのでしょうか。自然環境や人の温かみなども勿論あると思いますが、住



新年 謹賀

掛けていきましょう。

さて、いま本町では「津別町複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」により、歩いて暮らせるコンパクトなまちなか、にぎわいの創出を目指して、まちなか再生事業に取り組んでいます。昨年はその第一段階となる、行政機能・健康福祉センターを集約した役場複合庁舎と、消防・防災の活動拠点となる消防庁舎が完成しました。

今後は第二段階として、旧役場庁舎から旧農協事務所までのコミュニティゾーンとする一帯に、買い物環境、図書館、交通拠点の整備が予定されています。住民の方々がより身近に利用する施設となりますので、議会としても将来を見据え、より良いものとなるよう行政と協議して参ります。来年

の春には、中心市街地の街並みが大きく変わり、にぎわいを生む新たな地域交流の場になることと思

います。これからもこの町に住まわれる皆さまのため、移住されてくる方々のため、移住先として選ばれるためにも、住みよく自由なく生活ができる環境を整えていかなければなりません。

いま、人口減少、少子高齢化は多くの自治体が直面している大きな課題であります。本町も例外ではなく、人口減や地域社会の課題に対応すべく地方創生に取り組みながら、子育てから高齢者などへの支援施策が必要であります。本町では昨年4月から、子どもの医療費について、無料化の対象を15歳から18歳まで引き上げました。12月からは、高齢者等の日常生活

における買い物や通院など町内における交通移動手段として、週2回の市街地巡回線「花バス」の運行を開始し、同時に75歳以上の方々には外出における利便性向上に向け、タクシー利用助成券の交付も始まりました。

また、子どもたちの学び舎である津別小学校の旧校舎が、築40年以上と損傷が著しいことから2か年で改修を行い、校舎の長寿命化とあわせ、児童生徒の学習環境の改善を図っているところです。

今後、将来に向けては、地域医療体制の確保や、高齢者施設の整備なども含め、誰もが健康で安心して暮らせるまちを津別町は目指しています。

心地よいまちづくりのため、これからも議会は皆さまの代表として責任と役割を果たしていく所存でありますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

今年「寅」年です。野球で寅と言えば阪神タイガースですが、今年の北海道日本ハムファイターズは「ビッグボス」新庄監督の元、何かあるのではと、道民の一人として応援しています。

結びになりますが、本年が明るく希望の持てる一年となりますとともに、皆さま方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたしま